

長野都市計画用途地域の変更（箱清水一丁目地区）
～城山公園の再整備について～



市民プール 築49年



ふれあい広場



さくら並木



噴水広場



城山公園 全体図



【公園の概要】

- > 開設年 明治33年
- > 開設面積 13.45ha
- > 公園種別 総合公園

少年科学センター 築31年



城山動物園 築55年




信濃美術館・東山私塾館




蔵春閣 築50年



公園内施設の老朽化



信濃美術館の再築



施設のあり方の検討 美術館エリアの再整備

↓

公園一帯の再整備検討の必要性

↓

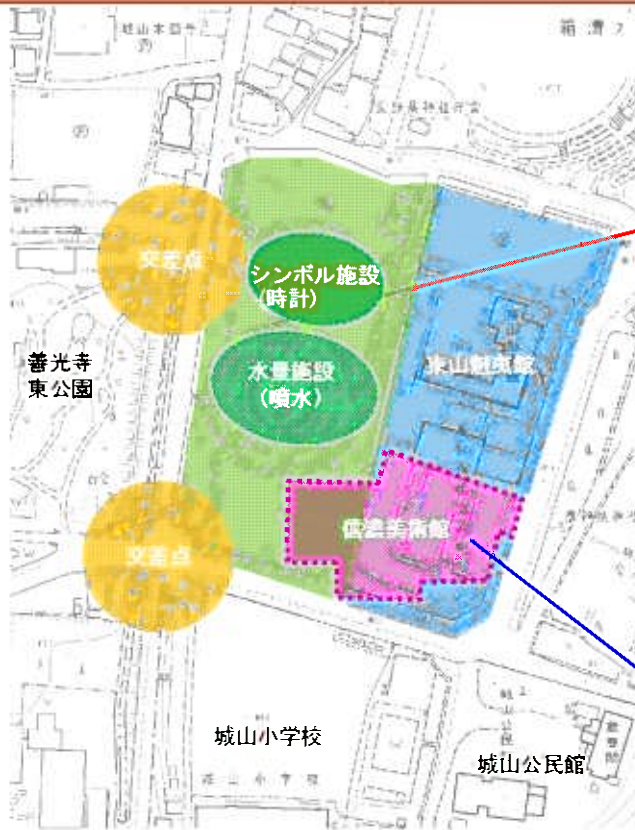
城山公園再整備検討委員会の発足

噴水広場（芸術・文化ゾーン）は、信濃美術館と一体的に整備を進める必要があることから、他に先行する形で作業を進める。

◎検討委員会スケジュール

第1回 4/18	<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園再整備の主旨 ・城山公園の現状、経緯 ・信濃美術館の計画について 	↑
第2回 7/6	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・アンケート調査について ・再整備の方向性について 	平
第3回 8/30	<ul style="list-style-type: none"> ・噴水広場基本設計の審議 ・再整備の方向性について ・アンケート結果の整理 	成
第4回 10/24	<ul style="list-style-type: none"> ・噴水広場基本設計の審議 ・再整備の方向性について 	29
第5回 12/20	<ul style="list-style-type: none"> ・噴水広場基本設計の審議 ・再整備の方向性について 	度
第6回 2/5	<ul style="list-style-type: none"> ・噴水広場基本設計案の決定 	↓
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・公園全体の再整備の方向性について ・再整備計画の条件整理（公園区域、民間活力等） 	平
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 ・ゾーニング、動線計画 	成
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備計画案について 	30
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営計画案 ・パブコメ結果対応 	年
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備計画について ・管理運営計画について 	度

噴水広場の整備内容



●噴水広場の再整備

H29～H30 ・基本設計、実施設計

H31～H32 ・修景施設
・駐車場・植栽
・交差点周辺の整備

H33当初(善光寺御開帳) 完成目標

●信濃美術館の改築

H29～H30 ・基本設計、実施設計
・東山魁夷館改修
・本館の解体

H31～H32 ・本館の新築工事

H33当初(善光寺御開帳) 完成目標

整備素案に関するパブリックコメントの実施

1 目的

新しい噴水広場のデザインを表現した複数の図案について、広く市民の皆様からご意見、ご提案をいただき、基本設計に反映させる。

2 内容

三つのコンセプトを基本に、それぞれの個性を強調させた3案を展示

3 期間

平成30年1月11日(木)から平成30年1月31日(水)まで

4 閲覧場所

市役所第一庁舎1階「市民交流スペース」、
長野駅MIDORI3階「りんごのひろば」、公園緑地課、各支所等、
市ホームページ

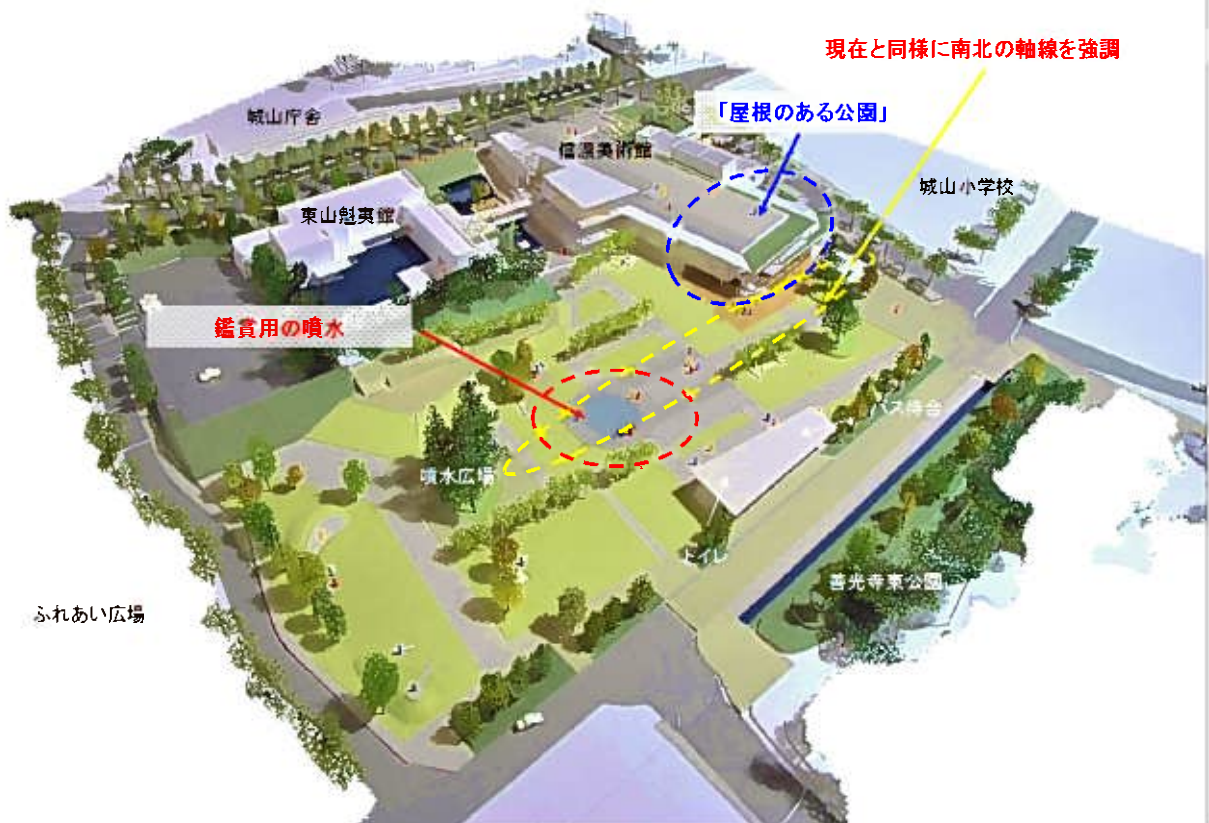
5 意見の提出方法

所定の様式により投函箱、ながの電子申請、郵送、電子メール、FAX

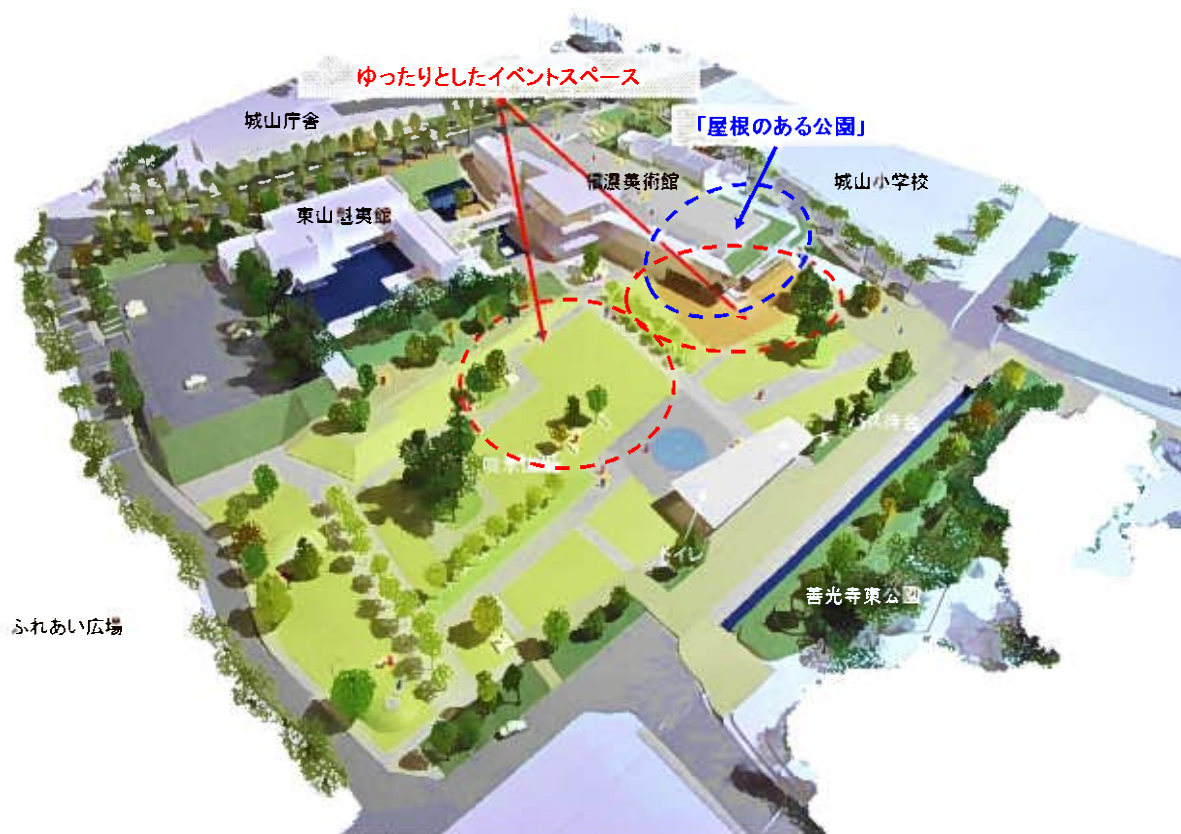
素案の説明

<p>A案</p>	<p>■コンセプト「歴史の継承」 ～地域の緑をつなぐ帯～</p> 	<p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の噴水を現代の形で継承した三代目の鑑賞用の噴水を配置 現在と同様に噴水を中心とした南北の軸線を強調しつつ、信濃美術館及び東山魁夷館の間の神社と善光寺からつながる水と緑の帯を配置し、連続性を強調
<p>B案</p>	<p>■コンセプト「芸術と文化」 ～屋根のある公園をつなぐ芝生広場～</p> 	<p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術館の誰もが自由に利用できる「屋根のある公園」からつながる場所に大きな芝生広場を配置し、ミニコンサートやアートフェスなどの芸術・文化を楽しむ多様なイベントに対応 三案の中でも大きめのイベント開催が可能
<p>C案</p>	<p>■コンセプト「山並みとの調和」 ～信州の山並みをつなぐ微地形～</p> 	<p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 背後の信州の山並みと調和する緩やかな起伏を設けることにより四季折々の風景の変化を楽しむ 曲線を使った園路が多く、歩きながら色々な連続性を楽しむ

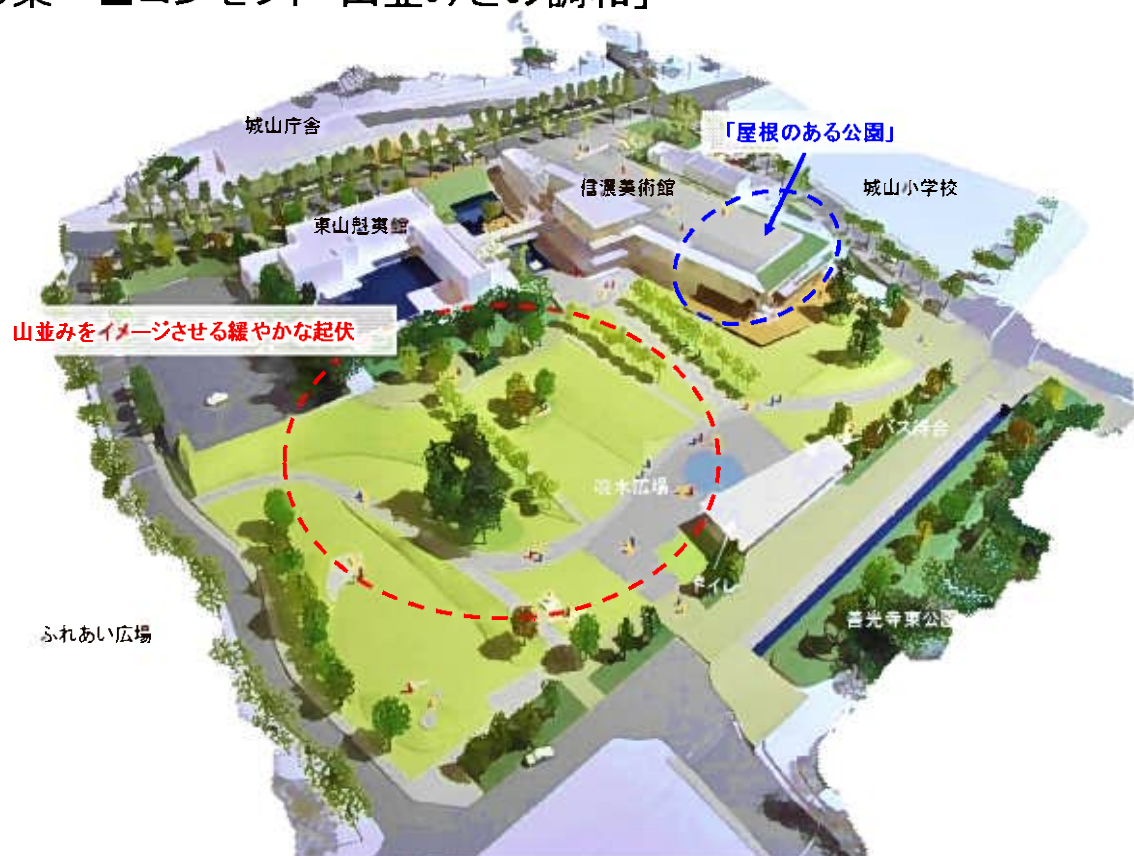
A案 ■コンセプト「歴史の継承」



B案 ■コンセプト「芸術と文化」

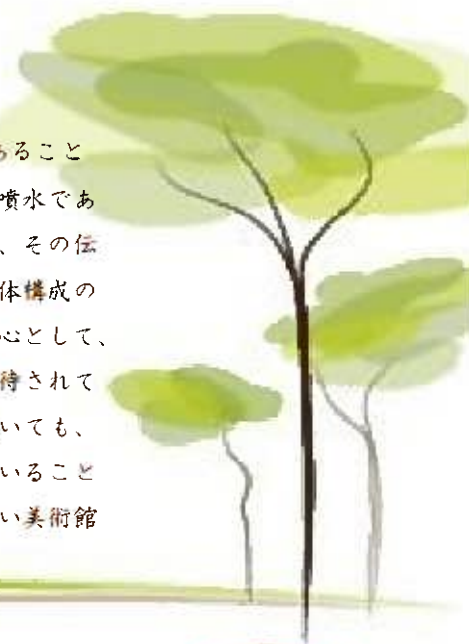


C案 ■コンセプト「山並みとの調和」



噴水広場の整備方針

城山公園は、明治33年から続く長野市で最も古い公園であることから、唯一の歴史を語る公園となっています。その象徴が噴水であり、花時計です。時代の変遷とともに形を変えているものの、その伝統は引き継がれています。また、この場所は、城山公園の全体構成の中で、芸術と文化のゾーンに位置づけられており、美術館を中心として、市民が広く芸術に触れ合えるような文化的な空間づくりが期待されています。さらに、市民アンケートや市民ワークショップにおいても、文化的で、静かで、落ち着ける場所という要望が多くなっていることから、現在の噴水広場が持っている趣を継承しつつ、新しい美術館と一体的に美しい広場をつくっていきたいと考えます。



ランドスケープ
(景観との調和)

歴史の継承

芸術と文化のゾーン

善光寺と信州の山並みに
調和する

いつまでも変わらないこと
を伝えていくこと

美術館と共に芸術と文化
をテーマとする